弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

本院では，下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で，情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は，下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	腎・泌尿器疾患に対する治療効果と治療後の状態・予後についての臨床研究			
2. 対象患者	弘前大学医学部附属病院、関連施設で各疾患に対し治療を行なった患者さん。 疾患名：腎・泌尿器疾患（副腎腫瘍・腎疾患・前立腺疾患・精巣腫瘍・陰茎癌・停留精巣・不妊・小児泌尿器科疾患など） また、既に承認を受けている臨床研究（泌尿器癌に対する治療効果についての多施設共同後ろ向き臨床研究:2021-241）で得られた臨床情報も活用させていただきます。			
3. 対象となる期間	1996 年　1 月 1　日　～　2030 年 3　月　31 日			
4. 実施診療科等	泌尿器科			
5. 研究責任者	氏名	畠山真吾	所属	泌尿器科学講座
6. 共同研究機関 （共同研究機関研究責任者）	鷹揚郷腎研究所（青森病院：齋藤文匡・弘前病院：齋藤久夫）、むつ総合病院（百田匡毅）、青森県立中央病院（岩渕　郁哉）、青森労災病院（伊藤弘之）、つがる総合病院（米山高弘）、青森市民病院（吉川和暁）、大館市総合立病院（成田知）、Chang Gung University, Dept of Urology (Luo Hao Lun)、市立函館病院（西村祥二）、八戸平和病院（松岡俊光）、十和田市立中央病院（田中壽和）、独立行政法人国立病院機構 弘前総合医療センター（相馬　理）、三沢市立三沢病院（橋本安弘）、札幌医科大学医学部泌尿器科学講座　（舛森直哉）、富山大学大学院医学薬学研究部 腎泌尿器科学講座（北村 寛）、明理会中央総合病院泌尿器科（松本哲平）			
7. 研究の意義	腎・泌尿器疾患の現状把握と今後の治療指針を考察する重要な資料とすることができるため、本研究の成果は医学的価値の高いものであると考えられます。			
8. 研究の目的	腎・泌尿器疾患に対する治療前後の情報をもとに、治療効果、その後の経過、再発、予後について調査します。			
9. 研究の方法 （使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等）	泌尿器疾患に対して治療を行う患者さんに対し情報公開をし、拒否機会を保障します。治療のために来院、もしくは入院した患者さんの過去のデータ（既往歴、治療情報、採血結果、病理結果、再発などの予後情報）を利用します。通常の診療・治療で必要な検査，測定された採血結果を用いて研究を行いますので，患者さんに過分な負担はございません。外部とデータを共有する場合は、個人情報を削除し、プライバシーの保護に十分配慮して行います。			
10. 個人情報の保護	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。			

<table>
<tr><td>11.　利益相反に関する状況</td><td colspan="4">この研究に参加することにより、特別な金銭的負担はございません。また本課題の資金源は公的な研究補助金を用いて行います。研究代表者および共同研究者に対して個人的な資金提供や便宜が行われることはなく，本課題は泌尿器科の研究グループによって公正に実施されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">12.　連絡先</td><td colspan="4">弘前大学大学院医学研究科　泌尿器科学講座　(月～金：9：00-17：00)</td></tr>
<tr><td>電話</td><td>0172－39－5091</td><td>FAX</td><td>0172－39－5092</td></tr>
</table>